

調査企画書

[2024年版 MFPマーケット総覧]

『再編に向けて動き始めた
複合機・プリンタ業界の将来展望』

＝電子写真及びインクジェット方式の
複合機/プリンタ/プロダクションプリンタ市場の総合分析＝

<標準版>

(全世界の最新出荷台数分析)

<特別版>

(全世界の最新出荷台数分析)
(業界再編、全世界のMIF分析)

2024年11月



日・中・米・欧の市場調査

株式会社 データ・サプライ

〈調査概要〉

I. 調査テーマ

[2024年版 MFPマーケット総覧]

『再編に向けて動き始めた複合機・プリンタ業界の将来展望』

〈標準版〉（全世界の最新出荷台数分析）

〈特別版〉（全世界の最新出荷台数分析）＋（業界再編、全世界の MIF 分析）

II. 調査主旨

リコーと東芝テックは 2024 年 7 月、両社のオフィス向け複合機の開発・生産機能を統合した新会社「エトリア（ETRIA）」を設立し、事業を開始した。また、富士フイルムビジネスイノベーション（以下、富士フイルム BI）とコニカミノルタは同年 4 月、業務提携に向けた協議を開始し、複合機やプロダクションプリンタ事業の部材調達機能を統合する新会社を設立することを決めた。日本が世界シェアで優位に立つ複合機・プリンタ業界において再編が進み始めた背景としては、まず、先進国を中心にオフィスのペーパーレス化が進展し、複合機やプリンタの出荷台数が頭打ちとなるなかで、日本メーカー同士が競争を激化させて疲弊していくことへの懸念がある。また、虎視眈々と複合機・プリンタ市場を狙う中国企業にコア技術流出させたくないという警戒感の現れとみることもできるだろう。さらに、コロナ禍で顕在化した部材調達リスクに対応するためメーカー間の提携が促されたという見方もある。

いずれにしろ再編はまだ始まったばかりで、業界に大きな変化が起こるのはこれからとみられている（電子写真からインクジェットにその影響が波及する可能性もある）。「リコー＋東芝テック」、「富士フイルム BI＋コニカミノルタ」のいずれの陣営もブランドはそのまま維持するとしており、今後、経営統合にまで発展していくのかは不透明な状況だ。ただ、複合機・プリンタ業界は、全世界に設置された膨大なマシン（MIF：Machines in the Field）に対する消耗品の供給を大きな収益源としており、この MIF の規模が各企業の収益力を図る大きな指標となる以上、いずれは合弁の一方に技術を集約することで他陣営に対抗する形へと進んでいくことが予想される。一方、合弁のなかで非主流の技術として位置付けられた場合、そのエンジンやトナーは役割を終えることになり、いずれは人員削減や工場閉鎖などの構造改革を余儀なくされることになるだろう。新たに合弁に参加する企業が出てくるとすれば、これらの痛みを伴う覚悟が必要となり、そのハードルは決して低くない。

「2024 年版 MFP マーケット総覧」はシリーズ第 34 回目の刊行となります。今回も前回に続き、従来の調査フォーマットを踏襲する〈標準版〉（全世界の最新出荷台数分析）に加え、複合機・プリンタ業界の再編と全世界の MIF を多角的に分析したレポートを加えた〈特別版〉（全世界の最新出荷台数分析）＋（業界再編、全世界の MIF 分析）の刊行を予定しています。いずれのレポートでも、専門的・客観的見地から調査・分析を進めていきます。今回のレポートが業界再発展の一助になることを望みます。

ハードウェアの調査対象スピードレンジ

①	PC (1 ~ 10 ppm)
②	セグメント1 (11 ~ 20)
③	セグメント2 (21 ~ 30)
④	セグメント3 (31 ~ 40)
⑤	セグメント4 (41 ~ 69)
⑥	セグメント5 (70 ~ 90)
⑦	セグメント6 (91 ~)

調査対象地域分類

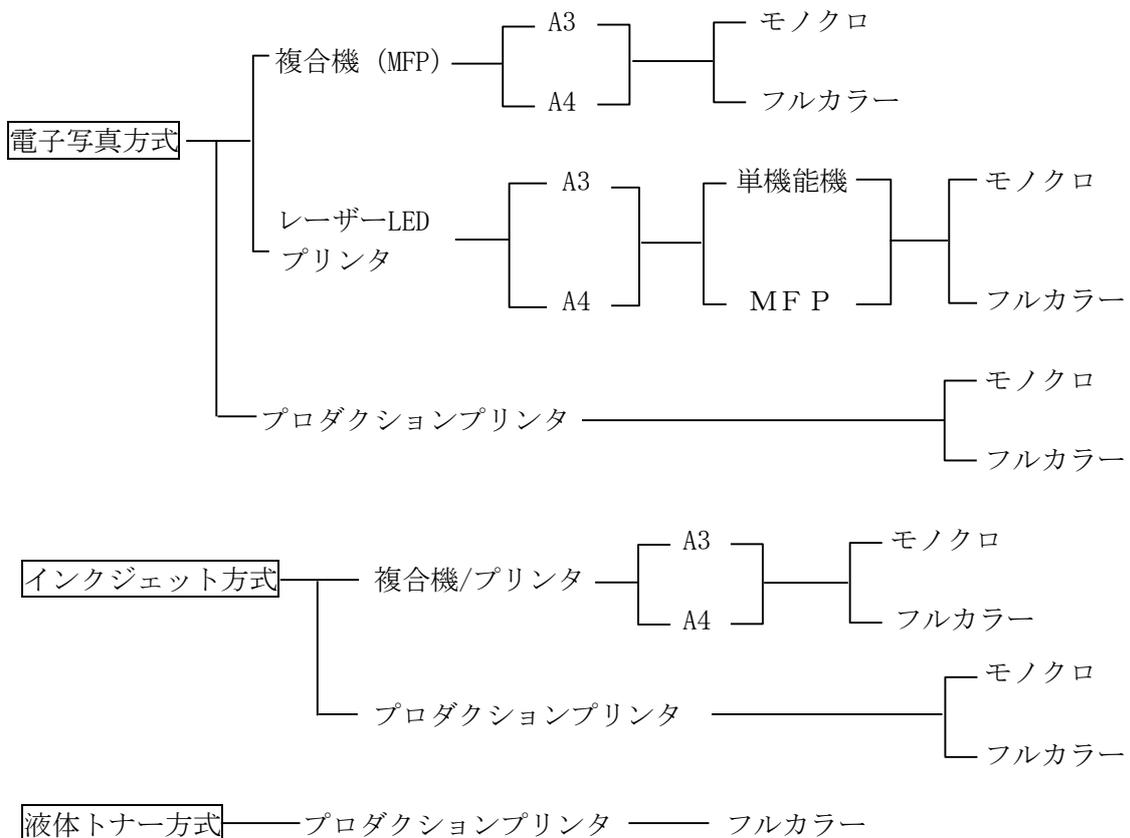
日本
北米
欧州
中国
その他

カラーはモノクロのスピードで分類。

ハードウェアの出荷台数の調査範囲

1. エンジンメーカーとしての出荷台数
 - 1) エンジンメーカーとしての出荷台数 (自社ブランド/OEM 供給)
 - 2) OEM を受けている分のお荷台数
2. 主要プリンタベンダー別出荷台数

III. 調査対象品目



IV. 調査対象先

1. 主要メーカー・ベンダー
 - 1) 複合機メーカー・ベンダー
キヤノン、エトリア（リコー、東芝テック）、富士フイルムビジネスイノベーション、コニカミノルタ、京セラドキュメントソリューションズ、シャープ、HP（HP Printing Korea）、Xerox、他
 - 2) レーザー／LEDプリンタメーカー・ベンダー
キヤノン、ブラザー工業、HP（HP Printing Korea）、富士フイルムビジネスイノベーション、コニカミノルタ、OKI、京セラドキュメントソリューションズ、エトリア（リコー）、Ninestar（Lexmark、奔图/Pantum）、联想/Lenovo、得力/Deli、虹光/Avision、光电通/TOEC、沧田/CUMTENN、中盈/Zonewin、汉图/HANTO、长城/GWI、国合/GUOHE、他
 - 3) プロダクションプリンタメーカー・ベンダー
キヤノン（Canon Production Printing 含む）、リコー、富士フイルムビジネスイノベーション、コニカミノルタ、Xerox、HP（HP Indigo）、Kodak、他
 - 4) インクジェットメーカー
HP、キヤノン、セイコーエプソン、ブラザー工業、他
2. 関連メーカー・ベンダー
 - 1) OEM先メーカー
 - 2) 主要ディーラー（ベンダー）
 - 3) 部品・材料メーカー
 - 4) その他関連取引先

V. 調査対象期間及び対象範囲

1. 対象期間
 - 1) <全世界の最新出荷台数分析>
2022年～2023年実績、2024年見込～2027年予測
 - 2) <全世界のMIF分析>
2015年～2023年実績、2024年見込～2040年予測
2. 調査対象範囲
対象範囲は日本を含め全世界（北米、欧州、中国、その他）

VI. 調査方法

1. 取材対象メーカーへの直接訪問面接調査
2. 公開されている文献、資料、統計等の分析及び調査
3. 弊社に蓄積されているデータの活用

VII. 調査形態、調査期間、他

1. 調査形態
本調査はマルチクライアント方式による調査である。
2. 調査期間
2024年11月～2024年12月
3. 調査報告書刊行日
2024年12月24日（火）
4. 提出報告書
PDF

5. 調査報告書費用

- 1) <標準版> (全世界の最新出荷台数分析) (2023年版 674頁)
 ¥600,000 - (消費税別)
- 2) <特別版> (全世界の最新出荷台数分析) + (業界再編、全世界のMIF分析) (2023年版 753頁)
 ¥700,000 - (消費税別)

※刊行前の注文は10%オフ。申込時に半金、報告書完成時に残金を請求させていただきます。
尚、日、支払日はクライアント様の規定に準じます。

6. 調査担当者

山本幸男、吉田晃介、針生正史

(Tel:03-3831-9201、Fax:03-3831-9204、

E-mail: yamamoto@datasupply.jp/yoshida@datasupply.jp/

hariu@datasupply.jp)

(ホームページ: <http://www.datasupply.jp/>)

7. 申込方法

上記の担当者宛に申込書をFAXかE-mailでお送り下さい。

VIII. 調査項目

全世界の最新出荷台数分析 ※＜標準版＞＜特別版＞の共通項目

A. 総合分析編

A-1. 印刷方式（電子写真／インクジェット）別出荷動向（2022年～2027年）

1. 全世界の印刷方式別出荷動向（台数、金額）
2. ホーム&オフィス市場の印刷方式別出荷動向（台数、金額）
 - 2-1. 全世界
 - 2-2. 地域別（日本／北米／欧州／中国／その他）
 - 2-3. サイズ別（A3／A4）
 - 2-4. 地域別生産台数の比較（2023年／2027年）
3. プロダクション市場の印刷方式別出荷動向（台数、金額）
 - 3-1. 全世界
 - 3-2. サイズ別（連帳機／B1／B2／B3／A3）

A-2. 電子写真方式のハードウェアの出荷動向（2022年～2027年）

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. ホーム&オフィス市場におけるモノクロ・カラー別出荷動向（台数、金額）
3. プロダクション市場におけるモノクロ・カラー別出荷動向（台数、金額）
4. セグメント別ホーム&オフィス向けMFP/プリンタの出荷台数比較（2023年／2027年）
5. 国別の生産台数（比率）の変化（2023年／2027年）
6. ハードとノンハードの売上高比率（現状）
7. 主要OEM関係一覧

A-3. インクジェット方式のハードウェアの出荷動向（2022年～2027年）

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 国別の生産台数（比率）の変化（2023年／2027年）

B. 電子写真方式ハードウェア市場編

B-1. 複写機・複合機（MFP）市場編（2022年～2027年）

I. 集計編

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 地域別出荷動向（日本／北米／欧州／中国／その他）
3. 国別生産動向
4. スピードレンジ別出荷動向（台数、金額）※全世界のみ
5. 出力サイズ（A3／A4）別出荷台数 ※全世界及び地域別
6. メーカーシェア（台数、金額）、ブランドシェア（台数）
7. OEM関連情報
8. 商品開発動向
9. ハードとノンハードの売上高比率

II. 個別メーカー編

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 地域別出荷動向（日本／北米／欧州／中国／その他）
3. 国別生産台数
4. スピードレンジ別出荷動向（台数、金額）※全世界のみ
5. 出力サイズ（A3／A4）別出荷動向（台数、金額）※全世界及び地域別
6. 機種別の出荷台数（2023年実績分）
7. OEM関連情報
8. 商品開発動向
9. ハードとノンハードの売上高比率

B-2. レーザー／LEDプリンタ市場編 ※複合機モデル含む（2022年～2027年）

I. 集計編

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 地域別出荷動向（日本／北米／欧州／中国／その他）
3. 国別生産動向
4. スピードレンジ別出荷動向（台数、金額）※全世界のみ
5. 出力サイズ（A3／A4）別出荷動向（台数、金額）※全世界及び地域別
6. メーカーシェア（台数、金額）、ブランドシェア（台数）
7. OEM関連情報
8. 商品開発動向
9. ハードとノンハードの売上高比率

II. 個別メーカー編

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 地域別出荷動向（日本／北米／欧州／中国／その他）
3. 国別生産台数
4. スピードレンジ別出荷動向（台数、金額）※全世界のみ
5. 出力サイズ（A3／A4）別出荷動向（台数、金額）※全世界及び地域別
6. 機種別の出荷台数（2023年実績分）
7. OEM関連情報
8. 商品開発動向
9. ハードとノンハードの売上高比率

B-3. プロダクションプリンタ市場編（2022年～2027年）

I. 集計編

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 地域別出荷動向（日本／北米／欧州／中国／その他）
3. 製品レンジ別（エントリー&ライト／ミドル／ヘビー）出荷動向
4. メーカーシェア（台数）

II. 個別メーカー編

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 地域別出荷動向（日本／北米／欧州／中国／その他）
3. 製品レンジ別（エントリー&ライト／ミドル／ヘビー）出荷動向
4. 機種別の出荷台数（2023年実績分）
5. OEM関連情報

B-4. 液体トナー方式プロダクションプリンタ市場編（2022年～2027年）

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. メーカーシェア（台数）
3. 各社のラインアップ

C. インクジェット方式ハードウェア市場編

C-1. インクジェットプリンタ市場編 ※複合機モデル含む（2022年～2027年）

I. 集計編

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 地域別出荷動向（日本／北米／欧州／中国／その他）
3. 国別生産台数
4. サイズ別（A3／A4）出荷動向（台数、金額）
5. メーカーシェア（台数、金額）

II. 個別メーカー編

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 地域別出荷動向（日本／北米／欧州／中国／その他）
3. 国別生産台数
4. サイズ別（A3／A4）出荷動向（台数、金額）

C-2. インクジェット方式プロダクションプリンタ市場（2022年～2027年）

1. 全体出荷動向（台数、金額）
2. 地域別出荷動向（日本／北米／欧州／中国／その他）
3. サイズ別（連帳機／枚葉機＜B1／B2／B3／A3＞）出荷動向
4. メーカーシェア（台数）
5. 各社のラインアップ

D. 電子写真方式ハードウェア機種一覧

スピードレンジ別機種一覧（2019年～2024年）

1. 複写機・複合機（MFP）
2. レーザー／LEDプリンタ
3. プロダクションプリンタ

業界再編、全世界のMIF分析 ※特別版のみ

A. 複合機・プリンタ業界の再編動向

- A-1. 複合機・プリンタ業界における再編の歴史
- A-2. 複合機・プリンタメーカーの買収・協業・OEM関係図
- A-3. 各社の動向分析

B. 全世界のMIF分析

B-1. 複写機・複合機（MFP）のMIF推移（2015年～2040年）

1. 全世界のモノクロ／カラー別・サイズ（A3／A4）別MIF推移
2. 地域別のモノクロ／カラー別・サイズ（A3／A4）別MIF推移（日本／北米／欧州／中国／その他）
3. メーカー別MIF推移（全世界）

B-2. レーザー／LEDプリンタの出荷推移（2015年～2040年）

1. 全世界のモノクロ／カラー別・サイズ（A3／A4）別MIF推移
2. 地域別のモノクロ／カラー別・サイズ（A3／A4）別MIF推移（日本／北米／欧州／中国／その他）
3. メーカー別MIF推移（全世界）

B-3. プロダクションプリンタの出荷推移（2015年～2040年）

1. 全世界のモノクロ／カラー別MIF推移
2. 地域別のモノクロ／カラー別MIF推移（日本／北米／欧州／中国／その他）
3. メーカー別MIF推移（全世界）

B-4. インクジェットプリンタの出荷推移（2015年～2040年）

1. 全世界のモノクロ／カラー別・サイズ（A3／A4）別MIF推移
2. 地域別のモノクロ／カラー別・サイズ（A3／A4）別MIF推移（日本／北米／欧州／中国／その他）
3. メーカー別MIF推移（全世界）

<個別メーカー編サンプル>

B-2-2. 個別メーカー編

[1] キヤノン

1. 全体の出荷台数/出荷金額 (全世界/モノクロ・カラー別/サイズ別)

1) 出荷台数

単位: 台

品目	A 3	A 4	暦年		2021年		2022年		2023年(見込)		2024年(予測)		2025年(予測)		2026年(予測)		
				%		%		%		%		%		%		%	
モノクロ 合計																	
	対前年比																
カラー 合計																	
	対前年比																
総合計																	
	対前年比																

2) 出荷金額

品目	A 3	A 4	暦年		2021年	
				%		
モノクロ 合計						
	対前年比					
カラー 合計						
	対前年比					
総合計						
	対前年比					

<出荷台数>

キャノンの2022年におけるレーザー在宅勤務向けを中心に大幅な増加な計画修正となった。2023年は中が確実となっている。同年の出荷クで大幅減となった2009年の台数2024年以降の見通しも極めて不市場においても大口顧客のHPに以る可能性もあるが、2023年の反動が回復する要素は乏しく、年850万

<出荷金額>

2022年の出荷金額は対前年比12023年は出荷台数の減少に伴い、

<総合分析編サンプル>

[A. 総合分析編]

A-1. 印刷方式別出荷動向

1. 全世界の印刷方式別出荷動向(2021年~2026年)

1) 出荷台数

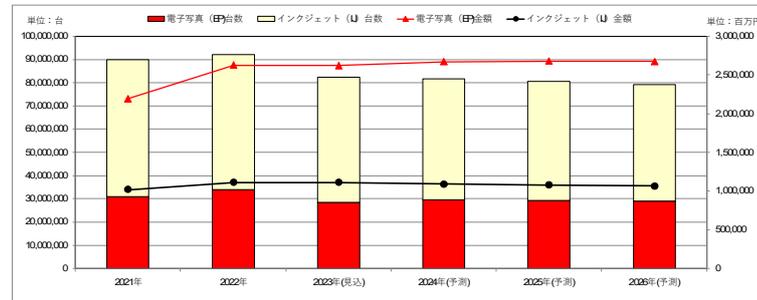
単位: 台

印刷方式	年	2021年		2022年		2023年(見込)		2024年(予測)		2025年(予測)		2026年(予測)	
			%		%		%		%		%		%
電子写真 (EP)	ホーム&オフィス向け												
	プロダクション向け												
	合計												
対前年比													
インクジェット (IJ)	ホーム&オフィス向け												
	プロダクション向け												
	合計												
対前年比													
総合計	ホーム&オフィス向け												
	プロダクション向け												
	合計												
対前年比													

2) 出荷金額

単位: 百万円

印刷方式	年	2021年		2022年		2023年(見込)		2024年(予測)		2025年(予測)		2026年(予測)	
			%		%		%		%		%		%
電子写真 (EP)	ホーム&オフィス向け												
	プロダクション向け												
	合計												
対前年比													
インクジェット (IJ)	ホーム&オフィス向け												
	プロダクション向け												
	合計												
対前年比													
総合計	ホーム&オフィス向け												
	プロダクション向け												
	合計												
対前年比													



2022年における全世界の電子写真方式 (EP) 及びインクジェット方式 (IJ) ハードウェアの出荷台数は対前年比102.4%の9,206万6,752台、出荷金額は同116.5%の3兆7,376億6,800万円。市場別で見ると、出荷台数ベースではホーム&オフィス向けが大半 (全体の99.9%) を占め、プロダクション向けは極少量に過ぎないが、出荷金額ベースではプロダクション向けが全体の9.9%を占める。印刷方式別では、EPの比率は出荷台数ベースでは全体の37.1%、IJ方式が同62.9%、出荷金額ベースではEP方式が全体の70.3%、IJ方式が同29.7%となっている。

2023年以降はホーム&オフィス向けを中心にプリンティング市場全体が縮小していくなかで、EPとIJともにプロダクション向けを拡大していくことで収益維持を図ることになる。

なお、本レポートにおける為替レートは、2021年:1USD=110円、2022年:1USD=131.5円、2023年以降:1USD=140円を前提にした。

<スピード別機種一覧サンプル>

3) 富士フイルムビジネスソリューション (発売時期/価格/スピード)

スピード: 11~20ipm, 21~30ipm, 31~40ipm

サイズ: A4

機能: 国内, 海外

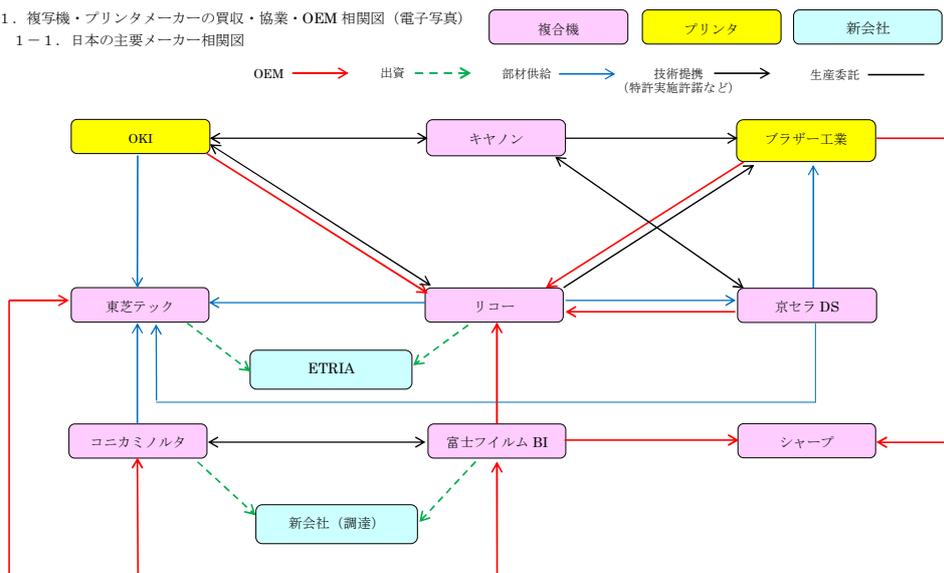
スピード	サイズ	機能	2018	2019	2020	2021	2022
11~20ipm	A4	国内					
		海外					
21~30ipm	A4	国内					
		海外					
31~40ipm	A4	国内					
		海外					

※ 機種名と仕様は、各メーカーのウェブサイトでご確認ください。

<業界再編サンプル>

1. 複写機・プリンタメーカーの買収・協業・OEM 相関図 (電子写真)

1-1. 日本の主要メーカー相関図



*** MFPマーケット総覧 既刊案内 ***

刊行日	タイトル	価格(税別)	頁数
1992.2	「電子写真方式製品の市場現状と将来予測」	¥ 150,000	126 頁
1993.2	「電子写真製品の速度別出力サイズ別市場の成長力分析」	¥ 400,000	350 頁
1994.4	「'94 高成長を続ける電子写真製品の機能別市場の将来性分析」	¥ 400,000	350 頁
1995.3	「'95 複合化、カラー化が進行する電子写真製品の将来性分析」	¥ 400,000	350 頁
1996.5	「'96 ネットワーク化を強める電子写真の将来性分析」	¥ 450,000	520 頁
1997.10	「'97 新市場形成へ向かうレーザー／LEDプリンタ、ファクシミリの市場動向と将来分析」	¥ 300,000	271 頁
1997.11	「デジタル化、ネットワーク化で新局面を迎えた複写機の現状と将来分析」	¥ 200,000	262 頁
1999.2	「'99 付加価値を高めるレーザー／LEDプリンタ、ファクシミリの市場現状と将来分析」	¥ 300,000	252 頁
1999.4	「デジタル化により変革を遂げた複写機市場の現状と将来展望」	¥ 250,000	422 頁
2000.5	「機能別間競争が激化する電子写真製品の市場現状と将来展望 －ハード市場編－」	¥ 300,000	656 頁
2000.9	「MFP市場総合分析レポート－国内MFP市場編－」	¥ 300,000	248 頁
2001.12	「急成長するMFP(複合機)市場の総合分析と影響力評価」	¥ 600,000	955 頁
2003.7	「カラー化が急進するMFP(複合機)市場の将来動向」	¥ 600,000	974 頁
2004.12	「激変する全MFP(複合機)市場(PPC、プリンタ、FAX)の将来性分析」	¥ 600,000	930 頁
2005.12	「全MFP(複合機)市場とオフィスユーザー調査」	¥ 600,000	927 頁
2006.12	「低価格化競争時代のMFP(複合機)市場とユーザー調査」	¥ 600,000	876 頁
2007.12	「撤退と参入が相次ぐMFP(複合機)市場の展望」	¥ 600,000	810 頁
2008.12	「市場縮小傾向を乗り越えるMFP(複合機)市場の展望」	¥ 600,000	844 頁
2009.12	「シェアが急変するMFP(複合機)市場の戦略分析」	¥ 600,000	826 頁
2010.12	「優劣が顕著化するMFP(複合機)市場の展望」	¥ 600,000	806 頁
2011.12	「淘汰の時代に入ってきたMFP(複合機)市場の将来性」	¥ 600,000	833 頁
2012.12	「市場中心主義の開発が進むMFP(複合機)市場の将来性」	¥ 600,000	839 頁
2013.12	「ローカル開発が加速する電子写真出力機器市場の展望」	¥ 600,000	880 頁
2014.12	「持続する電子写真市場の将来性分析」	¥ 600,000	871 頁
2015.12	「ノンハードを強化するMFP戦略の総合分析」	¥ 600,000	843 頁
2016.12	「業界再編の嵐に遭遇するメーカーの将来展望」	¥ 600,000	845 頁
2017.12	「選択と集中が加速する事務機業界の将来図」	¥ 600,000	757 頁
2018.12	「存在感を増す中国ブランドと事務機業界のゆくえ」	¥ 600,000	727 頁
2019.12	「成熟市場に挑戦し続ける事務機業界の展望」	¥ 600,000	807 頁
2020.12	「新日常社会へ挑戦する事務機業界の底力」	¥ 600,000	796 頁
2021.12	「業界変革期を迎えた複合機・プリンタ市場の将来性分析」	¥ 600,000	809 頁
2022.12	「DX時代に問われる事務機業界の成長性分析」	¥ 600,000	723 頁
2023.12	「変革期を迎えたプリンティング業界の将来性分析」 ＜標準版(メーカー別総合分析版)＞	¥ 600,000	674 頁
	＜標準版＞+＜長期予測特別版＞	¥ 700,000	753 頁

株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F
 TEL：03(3831)9201、FAX：03(3831)9204
 E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp
 ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日 2024年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

※セット価格は日本語版+英語版

	①日本語版		②英語版		セット ①+②	部数	金額
	価格 (税別)	刊行日	価格 (税別)	刊行日	価格 (税別)		
《 定期刊行物 》							
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート (1986年～) 年間1,200～1,300頁	年会費：¥700,000 月会費：¥60,000	毎月 20日	\$7,000 \$600	毎月末	¥900,000		
i4inkjet [Directions] (年6回発行、年300頁～) ※インクジェット関連の特許技術レポート	—	—	¥550,000 ～	2021年 7/27～	—		
《 2024年刊行予定物 》							
* 2024年版[感光体マーケット総覧] (263頁) 『業界変革・再編時代における感光体市場の総合分析』	¥500,000	2/26	\$5,200	4/15	¥800,000	日 英	
* 2024年版[ローラー系部品マーケット総覧] (372頁) 『市場成熟に向き合う部品業界の最新動向』	¥400,000	4/25	\$5,000	6/7	¥800,000	日 英	
* 2024年版[トナーマーケット総覧] (582頁) 『業界再編に向けて動き出すトナー業界の総合分析』	¥600,000	6/27	\$6,000	8/16	¥900,000	日 英	
* 2024年版[インクジェット印刷マーケット総覧] (419頁) 『印刷からものづくり分野へと拡大するインクジェット技術の最新市場動向』	¥500,000	10/30	\$6,000	12/9 予定	¥900,000	日 英	
* 2024年版[MFPマーケット総覧] 『再編に向けて動き始めた複合機・プリンタ業界の将来展望』 <標準版> (全世界の最新出荷台数分析)	¥600,000	12/24 予定	—	—	—		
<特別版> (全世界の最新出荷台数分析) (業界再編、全世界のMIF分析)	¥700,000						
《 2023年刊行物 》							
* 2023年版[感光体マーケット総覧] (272頁) 『変化の時代に真価が問われる感光体市場の総合分析』	¥500,000	2/22	\$5,200	4/21	¥700,000	日 英	
* 2023年版[ローラー系部品マーケット総覧] (385頁) 『価格上昇時代に突入した部品業界の総合分析』	¥400,000	4/25	\$5,000	注文 対応	—	日 英	
* 2023年版[トナーマーケット総覧] (587頁) 『環境配慮技術で生き残るトナー業界の将来性分析』	¥600,000	6/27	\$6,000	7/28	¥700,000	日 英	
* 2023年版[中国市場(ハードウェア・消耗品)] (222頁) 『中国企業の台頭により競争が激化する中国市場の徹底分析』	¥300,000	8/29	—	—	—		
* 2023年版[インクジェット印刷マーケット総覧] (389頁) 『ものづくりのスマート化を切り拓くインクジェット業界の最新市場動向』	¥500,000	10/27	\$5,000	12/8	¥700,000	日 英	
* 2023年版[MFPマーケット総覧] 『変革期を迎えたプリンティング業界の将来性分析』 <標準版> (メーカー別総合分析版) (674頁) <標準版>+<長期予測特別版> (753頁)	¥600,000/ ¥700,000	標準版：12/22 長期予測 特別版：12/26	—	—	—		
《 その他の刊行物 》							
* 2020年版[MIFマーケット総覧] (501頁) 『オフィス向け電子写真製品の設置台数とトナー量に関する長期予測』	¥400,000	2020年 9/28	\$4,000	2020年 12/23	—	日 英	